

種子法 というのは

「食料がなくなったら国民が飢えたら大変！だから、食料を安定して国民に供給できるように、日本古来の種（原種や原原種の優良品種）を都道府県が管理して、農家に提供しなさいね。国も税金からお金を出すからね。」という「国民の命を守る」法律 です。

日本の自給率は世界でも群を抜いて低く、食料の大半を外国から輸入しています。これ自体も早く解決しないといけないのに、種子法が廃止されると、ただでさえ 40%そこそこの自給率が 10%代に落ち込む見通しです。

種子法は、災害や不作続きになっても私達国民が飢える事の無いように、自治体から農家へ、安くて優良な種を提供することを義務付けているのです。

どうですか？これだけでも廃止してはいけない法律であることがわかりますよね。

更に、これ以上のリスクが私達に降りかかる…となるとどうでしょう。

**「そう、あるんですよ、この上に更なるリスクが。」**

**ダメ、絶対**

種子法…？廃止はダメ？

**ヨーロッパ諸国から追い出された、あの悪名高き「モンサント」が、日本で好き放題儲けるため「種子法」は廃止された**

遺伝子組み換え作物（GMO と呼ばれています）のデータは、一般公開されていません。安全なものなら公開されると思いませんか？

もし、数年後に遺伝子組み換え作物が「実は有害だった！」とわかったとしても、元に戻すことはできません。

だって遺伝子を変えちゃうんですから。

あなたはモンサントの除草剤「ラウンドアップ」ってご存知ですか？モンサントは「ラウンドアップで枯れない作物のタネ」を、モンサントお得意の遺伝子組み換えで作り、セット販売しています。このラウンドアップに耐性を持つ雑草さえも既にあるので、もっと強い除草剤を売る。その除草剤に耐える遺伝子組み換え作物を作る…モンサントは永遠に儲かりますね。薬を売るために病原菌をばらまくようなもの。カリフォルニア州では、ラウンドアップに発がん性を認めました。安全な薬だと思っているのは日本人ぐらいのものです。

我が身を守ることにしか考えていない偉い人達は、またしてもアメリカの外圧に屈し、日本人が昔から税金を投じて苦労に苦労を重ねてつないできた「日本人の生命の源である種」を外資にくれてやるのです。そしてこんな重要な事を「閣議決定」で強引に押し通し、国民には隠しています。種子法廃止が施行されれば、種は「ビジネス」となり、「国民の命や健康よりも企業の利益」が最優先されることになります。しかも国が支援を打ち切る上に、今までのノウハウを民間企業に無償で提供するようにという通達まで出ています。

実は以前にも、このモンサントが日本で無茶をしようとした事がありました。その時は、日本国民の 58 万筆にも及ぶ署名で阻止できたのです。今回も、私達国民が声をあげ、種子法廃止という政府の暴走を止めましょう！